



vol. 28
ギカイホウコク
12
DEC 2022

2022年の 最後の議会、 京都党・維新は ボーナスアップ反対



特集 **速報! 11月議会
& 地下鉄減便**

事業費370億円超の市庁舎整備計画
執務スペース不足解消のはずが一転…

すがや浩平

京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

日本維新の会への入党を希望する。 選挙(立候補)に興味がある。 ポスター掲示を許可する。

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	Fax 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。



日本維新の会 党员・候補者募集

日本維新の会では、党の綱領にご賛同いただき入党くださる方と立候補者を募集しています。入党には年額2千円の党費と審査が、立候補には公募申請がそれぞれ必要となります。詳しくは「京都維新の会」ウェブサイトにてご確認ください。 <http://kyoto-ishin.jp/>



▲ポスター(A2サイズ)

毎月第2土曜日に議会報告会を行なっています。

私、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しております。是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

[日時] 毎月第2土曜日夕方5時～6時 [場所] 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力のお願ひ (ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm)
ご自宅などの外壁・窓ガラス・フェンスなど、ポスターの掲示を許可していただける場所を探しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられております。

01 京都市11月議会

物価高対策の補正予算案など計130議案が提出 京都党・維新市議団だけがボーナス引き上げに反対

京都市11月議会が11月25日に開会し、市は今年9月の市人事委員会勧告を踏まえた市職員のボーナス(期末・勤勉手当)の引き上げや、それに伴う給与カットの期間延長をおこなう給与関係費1億1800万円に加えて、総額27億6500万円にのぼる物価高対策費などを盛り込んだ2022年度一般会計補正予算案など計130議案を市議会に提出した。

補正予算案の主な内訳は以下の通り。▽市内に本社や本店のある中小企業に5万円・個人事業主に3万円の支援金 20億7000万円 ▽電気料金の値上げなどに対する福祉・子育て施設などへの運営費支援 5億7900万円

▽燃料価格高騰で打撃を受けるタ

クシー事業者1台あたり1万円の支援金 4400万円

市議会は同日11月25日に予算特別委員会を開き、市職員のボーナスの引き上げなど計13議案の審議を先におこなった。11月30日に開かれた本会議では、地域政党京都党・日本維新の会市議団だけが、今後さらに市民負担が増すなかでの市職員のボーナスを引き上げる条例改正案には反対したが、自民党、共産党、公明党、民主・市民フォーラム(国民ほか)、立憲民主党、無所属議員らの賛成多数により同議案を含む計13議案が可決された。

11月議会の審議期間は、12月12日までの18日間の予定。

事業費370億円超の市庁舎整備計画 執務スペース不足解消のほすが一転：

市の見直し甘く年間約2億円の賃料が今後も発生 門川市長の「百年の計」が早くも崩れること…

財政難の京都市が370億円以上の巨額の財源を投じて2017年度から進めている市役所庁舎の再整備事業で、市はすべての工事が完了する2025年3月以降も市職員の執務スペースが不足する見通しであると明らかにした。

市は市役所庁舎の耐震性や執務スペースの不足、民間ビルの高額な賃料などの長年の課題を解消するため、2014年に市庁舎整備基本計画を策定した。既に約2400人の市職員が完成した新庁舎などに入るが、市は昨年度も市役所周辺の民間ビルなどに年間約6億5000万円の賃料を払って執務スペースを確保している。

市が計画を策定した当時、区役所などを除く本庁勤務の職員数は約3000人だったが、税務、医



▲2025年3月に完成予定の中京区・市役所北庁舎(右)

療衛生、介護の3部門を市役所に集約したことなどで、現在は約4000人にまで膨らんでいる。このため、約1000人分の執務スペースが不足し、試算では2026年度以降も年間約1億7000万円の賃料が必要になる。門川市長は市庁舎整備について、はるか未来の世代へと永く引き継がれる「百年の計」になると自信を覗かせていたが、その計画は早くも崩れることになりそうだ。

02 京都市営地下鉄・ダイヤ見直し

12月から昼間時間帯の8往復・計16本が減便に 昼と夜のダイヤ見直しで年間6000万円削減か

2020年度から再び経営健全化団体に転落している京都市営地下鉄事業は、12月17日から烏丸線と東西線の昼間時間帯の運行本数を1時間に1本ずつ減らす。

市の地下鉄事業は、新型コロナウイルス感染拡大前と比べて1日あたりの利用者が直近で約2割ほど減っており、今年の3月からは午後9時以降の夜間時間帯の減便をおこなってきた。市交通局は昼と夜のダイヤ見直しにより、人件費と電気代で年間約6000万円の削減を見込んでいる。

12月17日から新たに減便されるのは、午前11時から午後2時台のダイヤで、烏丸線と東西線は1日あたり上下線で合わせて8往復の計16本が減便となる。



▲市地下鉄の駅構内にはダイヤ見直しのお知らせが貼られる

このダイヤ見直しにより、1時間あたりの運行本数は8本から7本となり、7分30秒ほどだった運行間隔は8分から10分程度に延びる。ただし、朝夕の通勤・通学の時間帯の運行本数は減らさない。また、京阪京津線のダイヤ見直しに伴い、東西線の直通乗り入れも減便される。詳しくは、市営地下鉄の各駅や市交通局のホームページなどでご確認ください。

京都市議会議員・北区 菅谷 浩平 (36)



所属政党/日本維新の会
党の役職/京都府総支部幹事長代理
地域活動/消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記 Editor's note

なぜ財政難の京都市が職員のボーナスを引き上げるのか、疑問に思った人も多いはずだ。昨夏に市が策定した行財政改革計画では、2021年度から3年間限定で計50億円の給与減額をする。一方で、今秋の市人事委員会勧告どおりにボーナスを引き上げた場合、その達成は困難となる。そこで、市はボーナスを引き上げる代わりに、10月で終了した課長補佐級以下の職員らの給与カット(~3%)を来年3月まで延長する議案を議会に提出した。しかし、市民はこれで納得するのか。市は給与減額による職員のモチベーション低下を危惧するが、それならば市民のモチベーションのことも考えてほしい。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所

〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp



www.sugayakohei.com

@sugayakohei facebook.com/sugayakohei @sugayakohei